申し合わせ事項

1. 1標的ＡＢ・ＣＤの2立ちとする。

2. 試射は、ＡＢ(2分3射) →ＣＤ(2分3射)矢取り・ＣＤ(2分3射)→ＡＢ(2分3射)矢取りの順に行う。

3. 行射は試射と同様に行い、各ラウンドにつき12エンド(計36本)で行う。

4. 何らかのトラブルで行射が中断されたときは、トラブル解消後、1射につき40秒間を与え、再開する。
ただし、弓具故障の対応時間は最大5分間とする。

5. 行射終了後はスコープを覗くなどはせずに、速やかにシューティングラインから離れること。
また、車椅子等の選手は弓を膝の上に置き、行射終了が審判員にわかるようにすること。

6. 看的は相互看的を原則とする。
また、行射に際して介助者が必要な場合は、各自で手配して下さい。

7. 時間管理は､電光掲示及びブザーによって行う。

8. スコアカード提出時は、必要事項をもれなく記入し､集計チェックを行ってから提出すること。

9. その他､競技進行に関しては審判長の注意・指示に従うこと。